ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年１月31日

上場会社名　　株式会社プロネクサス　　上場取引所　東
コード番号　　7893　　ＵＲＬ　http://www.pronexus.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）上野　剛史
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員社長室長　　（氏名）大和田　雅博　　ＴＥＬ　03-5777-3111

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	14,500	△0.7	2,022	△3.1	2,031	△2.1	1,239	△4.8
24年３月期第３四半期	14,602	△6.7	2,087	16.3	2,075	15.5	1,301	45.7

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,322百万円（1.0%）　24年３月期第３四半期　1,309百万円（48.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	36.78	－
24年３月期第３四半期	36.73	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	27,792	21,719	77.7
24年３月期	27,615	21,943	79.1

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　21,591百万円　24年３月期　21,830百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	8.00	－	9.00	17.00
25年３月期	－	9.00	－		
25年３月期（予想）				9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	4.0	1,800	6.8	1,750	7.0	1,080	1.9	32.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　有
④　修正再表示　：　無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕P.4「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	37,327,700株	24年３月期	39,327,700株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	3,886,061株	24年３月期	3,919,861株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	33,695,733株	24年３月期３Ｑ	35,441,760株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。また、第２四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配布した資料、説明内容(映像及び音声)を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. 4
３．四半期連結財務諸表 …… P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… P. 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① わが国経済の状況

当第３四半期連結累計期間（以下、当第３四半期）におけるわが国経済は、円高、欧州債務問題、日中関係の悪化等の厳しい環境が続きましたが、昨年12月の政権交代を契機として為替、株価が好転し、企業業績への好影響が期待される状況となってきました。11月半ば以降、１ドル80円前後が続いていた為替レートは80円台後半にシフトし、当社事業との関連が高い国内証券市場は日経平均株価が8,000円台後半から上昇に転じ、年末には１万円台を回復しました。

② 業績の概況

当第３四半期は、国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、上場会社ディスクロージャー関連・上場会社ＩＲ関連等の売上高が減少しました。一方、金融商品ディスクロージャー関連は不動産投資信託（ＲＥＩＴ）市場の活性化により、またデータベース関連は営業活動の強化により、それぞれ売上高が増加しました。この結果、当第３四半期の連結売上高は、前年同期比101百万円減（前年同期比0.7%減）の14,500百万円となりました。なお、当第３四半期連結会計期間（10－12月期）の前年同期比は、40百万円の増加となっております。

利益面では、原価率が低下したものの売上高の減少と販管費の増加により、営業利益は前年同期比65百万円減（同3.1%減）の2,022百万円となりました。経常利益は前年同期比43百万円減（同2.1%減）の2,031百万円となりました。また、四半期純利益は前年同期比62百万円減（同4.8%減）の1,239百万円となりました。

１）製品別の販売動向

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

国内上場会社数の減少幅は前年同期比約50社減まで縮小したものの、競争激化の影響等もあって、株主総会招集通知及び決算関連書類の売上が減少しました。一方、会計連携・開示支援システム「ＷＯＲＫＳ－i」は利用顧客数の増加により売上が増加しました。また、ファイナンスやＩＰＯ関連の売上も増加しました。これらの結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比156百万円減（同2.2%減）の7,038百万円となりました。

＜上場会社ＩＲ関連等＞

国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、株主通信（株主向け報告書）の売上が減少しました。一方、ホームページ・ＩＲサイト構築等のＷｅｂ－ＩＲサービスを始めとする各種ＩＲサービスの売上は増加しましたが、株主通信の減少をカバーするに至らず、上場会社ＩＲ関連等の売上高は前年同期比50百万円減（同1.3%減）の3,953百万円となりました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

国内投資信託分野においては市況の低迷が続いていますが、投資信託開示業務支援システム「ＦＤＳ」の導入による開示書類の受注拡大、様々な販売用ツールの需要獲得等により売上を確保しています。一方、当第３四半期の不動産投資信託（ＲＥＩＴ）市場は、４年半ぶりのＩＰＯ復活、ファイナンスの増加等、市況回復が本格化しましたが、当社はこの分野で高いシェアを獲得し売上が増加しました。この結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比85百万円増（同2.6%増）の3,328百万円となりました。

＜データベース関連＞

主力製品の企業情報データベース「ｅｏｌＤＢ」や「ＡｓｉａＯｎｅ」の拡販に取り組むとともに、「日本の企業100万社」のデータ販売や台湾市場の開拓等、事業領域の拡大を目的としたマーケティング活動に注力しました。この結果、データベース関連の売上高は前年同期比19百万円増（同12.3%増）の180百万円となりました。

（製品区分別売上）

区分	前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）		当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）		増減（△印減）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	増減率（%）
上場会社ディスクロージャー関連	7,194,871	49.3	7,038,640	48.5	△156,230	△2.2
上場会社ＩＲ関連等	4,003,712	27.4	3,953,343	27.3	△50,369	△1.3
金融商品ディスクロージャー関連	3,243,474	22.2	3,328,638	23.0	85,164	2.6
データベース関連	160,483	1.1	180,287	1.2	19,803	12.3
合計	14,602,542	100.0	14,500,909	100.0	△101,632	△0.7

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

２）利益の概況

当第３四半期は、全社的なコスト削減活動の推進により原価率が前年同期の57.5%から56.9%に0.6ポイント改善した結果、売上高は減少したものの売上総利益は44百万円増加しました。一方、営業体制の強化により販管費は109百万円増加しました。この結果、営業利益は前年同期比65百万円減（同3.1%減）の2,022百万円となりました。

営業外収益80百万円と営業外費用70百万円を加減し、経常利益は前年同期比43百万円減（同2.1%減）の2,031百万円となりました。税金等調整前四半期純利益は前年同期比32百万円減（同1.6%減）の2,031百万円となりました。また、四半期純利益は前年同期比62百万円減（同4.8%減）の1,239百万円となりました。

③ 第３四半期の季節性

当社グループの売上の約75%を占める上場会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が３月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第１四半期連結会計期間（４－６月期）に集中します。このため、例年、下表のとおり第１四半期連結会計期間の売上が年度全体の４割を超え、第３四半期連結会計期間（10－12月期）は２割程度にとどまります。

（参考）平成24年３月期

	第１四半期（４－６月期）	第２四半期（７－９月期）	第３四半期（10－12月期）	第４四半期（１－３月期）	年度計
売上高　（百万円）	7,729	3,014	3,858	3,183	17,785
構成比　（%）	43.5	16.9	21.7	17.9	100.0

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末（以下、当第３四半期末）における資産合計は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し27,792百万円となりました。主な要因は、有価証券の増加1,000百万円、無形固定資産の増加403百万円及び現金及び預金の減少1,148百万円等です。

当第３四半期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ400百万円増加し6,073百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加670百万円、短期借入金の増加80百万円及び長期借入金の減少375百万円等です。

当第３四半期末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ223百万円減少し21,719百万円となりました。主な要因は、四半期純利益1,239百万円計上による増加と剰余金の配当による減少619百万円及び自己株式の取得による減少927百万円等です。この結果、自己資本比率は、77.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

＜当期の見通し＞

連結業績予想につきましては、平成24年５月７日の「平成24年３月期　決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,382,134	8,233,770
受取手形及び売掛金	1,489,460	1,732,585
有価証券	4,340,347	5,341,043
仕掛品	218,146	202,758
原材料及び貯蔵品	6,686	5,569
その他	536,900	413,317
貸倒引当金	△8,385	△9,535
流動資産合計	15,965,290	15,919,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,820,343	1,723,256
機械装置及び運搬具（純額）	624,023	515,242
土地	3,887,672	3,887,672
その他（純額）	173,292	178,844
有形固定資産合計	6,505,332	6,305,015
無形固定資産	1,297,561	1,701,387
投資その他の資産		
投資有価証券	2,526,538	2,597,957
その他	1,355,923	1,302,923
貸倒引当金	△34,858	△34,014
投資その他の資産合計	3,847,603	3,866,866
固定資産合計	11,650,497	11,873,269
資産合計	27,615,788	27,792,778

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	378,931	400,730
短期借入金	505,000	585,000
未払法人税等	39,691	709,862
賞与引当金	431,082	225,128
その他	1,272,446	1,493,787
流動負債合計	2,627,152	3,414,508
固定負債		
長期借入金	750,000	375,000
退職給付引当金	881,918	909,058
役員退職慰労引当金	42,658	25,117
その他	1,370,858	1,349,744
固定負債合計	3,045,435	2,658,920
負債合計	5,672,588	6,073,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,058,650	3,058,650
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
利益剰余金	16,923,665	16,231,607
自己株式	△2,933,493	△2,548,792
株主資本合計	21,732,418	21,425,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,263	166,448
その他の包括利益累計額合計	98,263	166,448
少数株主持分	112,518	127,840
純資産合計	21,943,200	21,719,350
負債純資産合計	27,615,788	27,792,778

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	14,602,542	14,500,909
売上原価	8,396,583	8,250,495
売上総利益	6,205,958	6,250,414
販売費及び一般管理費	4,118,454	4,228,277
営業利益	2,087,504	2,022,136
営業外収益		
受取利息	7,390	7,784
受取配当金	14,644	13,582
設備賃貸料	27,450	27,100
その他	37,183	31,622
営業外収益合計	86,669	80,089
営業外費用		
支払利息	21,166	15,491
投資事業組合運用損	65,609	34,409
その他	12,344	20,327
営業外費用合計	99,120	70,229
経常利益	2,075,053	2,031,997
特別損失		
投資有価証券評価損	10,833	－
特別損失合計	10,833	－
税金等調整前四半期純利益	2,064,220	2,031,997
法人税、住民税及び事業税	61,814	709,734
法人税等調整額	678,106	67,592
法人税等合計	739,920	777,327
少数株主損益調整前四半期純利益	1,324,299	1,254,670
少数株主利益	22,490	15,321
四半期純利益	1,301,808	1,239,349

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,324,299	1,254,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,139	68,185
その他の包括利益合計	△15,139	68,185
四半期包括利益	1,309,159	1,322,855
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,286,668	1,307,534
少数株主に係る四半期包括利益	22,490	15,321

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

なお、当社は、平成24年３月22日開催の取締役会決議に基づき、第１四半期連結会計期間において普通株式1,966,200株、927,059千円の自己株式を取得しております。

また、平成24年６月15日開催の取締役会決議に基づき、平成24年６月29日付で普通株式2,000,000株の自己株式を消却しております。この結果、自己株式及び利益剰余金が1,311,761千円減少しております。